

嘉手納町



防災マップ

嘉手納町防災マップの活用方法について

- ①このマップに掲載されている、危険箇所や避難場所、避難所の確認をし、災害発生時に迅速に避難できるようにしましょう。
- ②各種災害についての情報を理解し、最善の行動をとりましょう。
- ③非常持出品リストを参考に、日頃から準備しておきましょう。

東日本大震災の教訓

平成23年に発生した東日本大震災は、東北をはじめ各地で大きな被害をもたらしましたが、岩手県の釜石市においては、長年に渡り防災講演会や小中学校での防災教育に取り組んだことにより、市内の小中学校での犠牲者はほとんどでませんでした。

そこで、避難に際しての意識啓発として大きな効果をもたらした群馬大学の片田教授が提唱する「避難の3原則」を教訓としてご紹介します。

避難の3原則

①想定にとらわれるな！

大津波浸水想定区域もあくまで想定であるため、想定以上のものがかかる可能性を頭にいれておく。

②最善をつくせ！

指定された避難場所・避難所や想定された危険区域外だから大丈夫というものではなく、より高いところへ避難するなど、その時の最善をつくす。

③率先避難者たれ！

率先して避難したら、その姿を見て他の人もついて避難するので、まずは「自分の命を守りぬくことが先決」である。